

令和7年度 第1回
久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）
次第及び配布資料

日程：令和7年8月22日（金）18:00～
場所：久留米市庁舎3階 301会議室

次 第

1. 開会

（1）委員長挨拶

（2）新任委員紹介

【別紙1、別紙2】

2. 報告事項

（1）令和6年度実績報告について

【資料1-1、1-2】

（2）新規事業「認知機能検査とトレーニング」について

【資料2-1、2-2、2-3、2-4】

3. その他

（1）認知症イベント案内

開催日：令和7年11月1日（土）10:00～16:30

会 場：久留米シティプラザ 久留米座

内 容：（仮）・成年後見制度に関するトークセッション

・映画上映 （タイトル未定）

・ブース設置…VR 認知機能検査機器体験、成年後見制度相談など

・認知症本人作品展示など

（2）その他、今年度事業紹介

【配布資料】

資料1-1 久留米市第9期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画【本編】一部抜粋
資料1-2 令和6年度 認知症施策事業実績

資料2-1 新規事業仕様書より 別表1

資料2-2 事業チラシ【教室型】

資料2-3 事業チラシ【派遣型】

資料2-4 結果説明用紙

別紙1 久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）設置要綱

別紙2 久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）委員名簿

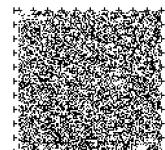
「久留米市第9期高齢者福祉計画及び
介護保険事業計画」

【本編】

一部抜粋

令和6年3月

久留米市



第4章 認知症施策の総合的な推進（重点施策）

認知症になつてもならなくとも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症への理解を深める普及・啓発、認知症予防や早期発見・早期対応の拡充に取り組みます。

また、必要な時に適切に医療・介護サービス等を提供できるように関係機関の連携強化を図ります。

さらに、認知症の人が交流し、活躍できる場づくりや、認知症の人の家族介護の負担軽減に取り組むとともに、認知症の人や家族に対して、企業や地域団体等による日常生活における支援の仕組みづくりを推進します。

認知症への理解を深めるための普及・啓発

【主な施策（事業）】

認知症への理解を深めるための普及・啓発

①認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成

認知症について正しく理解し、地域において認知症の人やその家族を見守り支える「認知症サポーター」を養成するため、小中学校、企業・地域団体等に対し、サポーター養成講座を実施する。

また、認知症サポーター養成講座の講師役である「キャラバン・メイト」が活動しやすいように環境の整備に努める。

②関係機関・団体等と連携した普及・啓発

認知症の理解を深めるために、大学等の専門機関や介護事業者等の関係団体等と連携して、医療・介護等の専門家や認知症の当事者等による講演会、認知症の疑似体験や関連映画の上映会などを開催する。

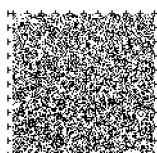
また、市公式LINEや広報紙などを活用した幅広い周知に取り組み、普及・啓発を推進する。

③認知症支援ガイドブックを活用した周知

認知症の人の状態に応じた標準的なサービスの流れや認知症の予防、相談可能な医療機関などを示した「認知症支援ガイドブック」を活用して、認知症の早期対応の重要性を民生委員・児童委員や介護事業者、医療機関等と連携して周知を行う。また、認知症に関する新たな情報の掲載や市民の理解が深まるように、ガイドブックの改訂を行う。

所管課

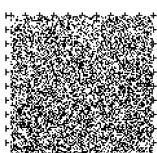
①・②・③長寿支援課



認知症の予防、早期発見・早期対応

【主な施策（事業）】

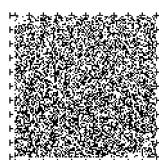
認知症の予防、早期発見・早期対応の推進	
①認知機能チェック	認知機能の状態を確認し、必要に応じて医療機関への受診や介護予防につなげられるよう、久留米大学と協働して行う「ものわすれ予防検診」を拡充し、実施する。 また、早期発見・早期対応するための新たな仕組みづくりについて検討する。 さらに、認知機能や聴覚機能の簡易検査を取り入れた「認知症予防講座」、校区や団体等への出前講座を開催し、早期の認知症予防の取り組みを推進する。
②認知症地域支援推進員の配置	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターに、認知症地域支援推進員を配置し、医療、介護、福祉等の関係機関との連携強化や認知症の理解を深めるための普及・啓発を行い、地域における支援体制の構築を図る。
③認知症初期集中支援チームによる支援、周知	認知症の診断が必要な方が、必要に応じ適切な医療・介護サービスを利用し、在宅生活が継続できるように、認知症サポート医と医療・介護の専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」が、早期の段階で集中的に関わることで、早期発見・早期対応につなげる支援を行う。 また、活動内容について、広く周知を行う。
④福岡県若年性認知症サポートセンターとの連携	若年性認知症の専門相談窓口である「福岡県若年性認知症サポートセンター」の周知に努めるとともに、本人が必要に応じ適切な支援を受けられるよう、福岡県若年性認知症支援コーディネーターとの連携を強化する。
所管課	①・②・③・④長寿支援課



認知症の人やその家族への支援、認知症の人が交流や活躍できる場づくり

【主な施策（事業）】

認知症の人やその家族への支援、認知症の人が交流や活躍できる場づくり	
①当事者ミーティングの実施	認知症の人やその家族が、自身が抱える悩みや不安について、情報交換して共有することで心の負担軽減を図るとともに、当事者の意思や意見等を踏まえ、必要な事業やサービス等の検討を行う。
②認知症カフェへの支援	認知症に関する知識習得や参加者同士の情報交換等を通じて理解を深め、孤立防止や介護負担の軽減等を図ることを目的とする「認知症カフェ」を、認知症の人やその家族が身近な地域で参加し、交流、活躍できる場になるよう、開設・運営に向けた支援に取り組む。
③認知症介護電話相談	認知症の人やその家族が抱える悩みの軽減や不安解消を図るため、認知症家族介護経験者による電話相談を実施し、寄り添った支援を行う。
④G P S機能を活用した行方不明高齢者位置情報検索サービスの利用促進（再掲）	行方不明高齢者の早期発見と事故防止、家族の身体的及び精神的な負担の軽減を図るため、位置情報検索サービス（G P S等）の利用開始にかかる費用を助成する。 また、新たなG P S機器等の情報収集や導入の検討、市民や介護支援専門員（ケアマネジャー）等への周知啓発を行い、利用を促進する。
⑤S O Sネットワークの推進（再掲）	認知症等による行方不明高齢者を速やかに発見・保護するために、「S O Sネットワーク協議会」の構成団体との連携や福岡県の防災メール「まもるくん」の活用に取り組む。また、行方不明高齢者の早期発見や身元不明高齢者の本人確認のために「高齢者あんしん登録制度」を推進する
所管課	①・②・③・④・⑤長寿支援課



チームオレンジ（オレンジ協力隊）の展開

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症サポート養成講座を受講した企業や団体が、買い物時などに困っている人に声掛けなどの支援を行う「オレンジ協力隊」として登録し活動することで、認知症の人を支える社会機運を醸成し、支援が広がる仕組みづくり（チームオレンジ）を推進する。

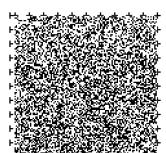
所管課 長寿支援課

【事業目標指標】

目標指標	単位	実績		目標		
		R4	R6	R7	R8	
当事者ミーティングの開催回数	回	1	3	5	7	
オレンジ協力隊の登録数	団体	—	10	20	30	

**実績 : 3回
達成率 : 100%**

**実績 : 23団体
達成率 : 230%**



認知症施策 事業実績

資料 1-2

■認知症サポーター養成講座

	R6	R5	R4
実施回数	52	50	48
養成人数	1,617	1,744	1,757
累計人数	40,445	38,828	37,084

■認知症サポーター養成講座 受講者内訳 (R6 年度単年)

受講団体別	開催回数	養成人数	割合
1. 住民	23回	525人	32.5%
2. 企業・職域	6回	100人	6.2%
3. 学校	18回	884人	54.7%
4. 行政	3回	66人	4.1%
5. 介護サービス	2回	42人	2.6%
合計	52回	1617人	

■久留米市認知症支援ガイドブック配布状況

配布先	備考 (※)	R6	R5	R4
窓口	市役所、支所、市民センター、地域包括支援センター	525	460	968
医療	医師会、医療機関（福岡県認知症医療センター久留米大学病院）など	2320	1374	959
介護	居宅介護支援事業所、介護事業者、医療と介護の連携会議など	20	120	30
市民団体	民生委員、老人クラブ、まちづくり振興会、ボランティア団体、各種出前講座、シンポジウム等	221	143	230
その他の関係機関	市職員、各種協議会委員、シルバー人材センターなど	1081	530	465
市主催事業	ものわすれ相談・予防検診、認知症 SP 養成講座、介護予防事業など	2118	1967	1834
	累計 (H28～R6 年度) 72,801 部	6285	4,594	4,486

■介護予防普及啓発事業 事業別参加者数

区分	R6	R5	R4
①認知症啓発イベント	500	260	336
②認知症高齢者介護電話相談	41	16	27
④ものわすれ予防検診	101	72	67
⑤認知症チェックと予防【教室型】	134	137	142
⑤認知症チェックと予防【派遣型】	137(7校区)	—	—
小計	913	485	572

■ものわすれ予防検診

人数(割合)	R6	R5	R4
参加人数(対定員)	101(97%)	72(90%)	67(84%)
うち健常(対参加人数)	63(62%)	37(51%)	34(51%)
うち認知機能低下あり(対参加人数)	38(38%)	35(49%)	33(49%)

■認知症チェックと予防 詳細

	R6 教室型	R6 派遣型 7団体	R5	R4
参加総数	134	137	137	142
うち健常	88	32	94	101
うち軽度認知症の可能性	43	100	41	34
うち認知症疑い	3	0	2	7
うち未実施	0	5	0	0

■認知症初期集中支援チーム

	R6	R5	R4
対象者(人)	11	14	15
うち新規	7	9	12
うち継続	4	5	3
延べ支援回数(回)	231	266	281

■ものわすれ座談会(旧当事者ミーティング)

	R6	R5	R4
実施回数(回)	3	2	1
参加者総数(人)	22	11	14
参加家族数(組)	12	6	7
定員家族数(組)	10	10	10

■ カフェ開設講座

	R6	R5	R4
実施回数 (回)	1	3	4
参加者 (人)	19	25	
申込者 (人)	22	28	28
定員 (人)	30	30	20

■ カフェ運営者向け講座 (R5 年度～)

	R6	R5	R4
実施回数 (回)	1	1	-
参加者 (人)	16	16	-

令和7年度「認知機能検査とトレーニング」実施プログラム（別表1）

この事業は、「認知機能検査」を実施後、検査結果に応じて、「トレーニング」を実施する。

1 「認知機能検査」…「集合型検査」と「派遣型検査」の2種類で募集・実施

■概要

	【集合型検査】	【派遣型検査】
会場	市が指定する市内12会場	申込み団体が指定する場所（最大15会場）
会場毎定員数	20～50名程度 別表2参照	30名程度
総定員数	600名程度	450名程度
募集対象	個人	校区まちづくり振興会
日時	会場毎に設定	申込み団体と別途調整
時間		120分
検査方法	市が指定するVR認知機能検査機器による検査（視線の動きにより認知機能を検査する機器で、検査に係る時間がおよそ5～10分程度。） ただし、緑内障や白内障など眼疾患等で上記機器の使用対象外の場合は、MoCA-Jによる検査。	
配置人員	5名以上 ※講話担当及び検査統括担当保健師を必ず各1名、計2名配置すること。 そのほか、MoCA-Jを実施できるものを1名配置すること。	

■プログラム

1.オリエンテーション	約10分	事業の目的や概要の説明	
2.検査と講話	約100分	検査 (個別)	個人を対象としてVR認知機能検査機器で検査。「検査結果用紙（仮称）」を渡す。
		講話 (全体)	認知症への正しい理解を促進するよう、“新しい認知症観”を踏まえた講話
3.今後の流れ	約10分	検査結果に応じた【トレーニング】等への案内	

2. トレーニング…【集合型検査】および【派遣型検査】を受けたものを対象に、月2回の検査を6か月間、計12回のトレーニングプログラムを実施し、最終回には、再度認知機能検査を行う。

■概要

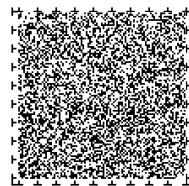
会場	市が指定する市内7会場
会場毎定員数	50名程度
総定員数	300名程度
対象者	【集合型検査】および【派遣型検査】を実施した者
日時	会場毎に設定
時間	1回あたり150分
実施方法	下記参照
配置人員	6名以上 ※講話ができる専門職（保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、健 康運動指導士）1名、及び運動や知的プログラムの指導ができる専門職 (同上) 1名、及び個別面談統括ができる保健師1名を必ず配置すること

■プログラム

1.オリエンテーション	約10分	事業の目的や概要の説明	
2.トレーニングと講話	約130分	トレーニング (全体)	<ul style="list-style-type: none">①ミニ講話（座談会方式）②トレーニングI<ul style="list-style-type: none">・頭と体を動かすコグニサイズなど③トレーニングII<ul style="list-style-type: none">・パズルや脳トレなど
		個別面談	<ul style="list-style-type: none">①自宅学習の取組み確認やアドバイス②健康相談など
3.おさらい	約10分	自宅学習の確認、質問など	

新しく始めます！！

認知機能検査とトレーニング



対象者

- ・久留米市内在住で原則65歳以上の方
- ・認知症の診断を受けていない方

注：応募多数の場合は抽選となります

内容



※画像はイメージになります

★VR機器を活用した認知機能検査

★認知症に関する講話

★認知機能検査の結果に応じ、自宅学習を含めた6ヶ月間のトレーニング教室を案内

(運動と課題の取組)

参加のメリット

★今の状態をチェックし進行予防！

★予防のコツを学び、日常生活で予防に取組むことができる！

参加申込書（参加費無料）

ふりがな		生年月日	大正 昭和 年 月 (日 歳)
氏名			
住所	(〒 -) 久留米市		
連絡先	(自宅電話番号) - - (FAX) - - (携帯番号) - -	※天候等の都合による中止の連絡等に使用します。	
希望会場	裏面の番号： (裏面の会場・日程を参照)		

【申込み・問合せ先】：久留米市役所 長寿支援課

電話：0942-30-9207 FAX：0942-36-6845

認知機能検査日一覧

番号	検査会場	時間 (2時間)	定員	検査日	申込〆切
①	南部保健センター (上津1丁目13-22)	14時	30	6月12日 (木)	5月23日 (金)
②	三潴生涯学習センター (三潴町玉満2949-1)	10時	50	6月18日 (水)	
③	コミュニティセンター上津校区会館 (上津町2201-1)	14時	30	6月24日 (火)	
④	コスモすまいる北野 (北野町中3253)	10時	50	6月25日 (水)	
⑤	大城校区コミュニティセンター (北野町大城83)	10時	50	6月30日 (月)	
⑥	城島げんきかん (城島町檜津739-1)	14時	50	7月1日 (火)	6月20日 (金)
⑦	西牟田校区コミュニティセンター (三潴町西牟田4412-1)	14時	50	7月2日 (水)	
⑧	久留米大学地域連携センターつながるめ (御井町1635)	14時	50	8月1日 (金)	7月18日 (金)
⑨	ふれあい農業公園 (草野町33)	14時	50	8月7日 (木)	
⑩	総合福祉会館 (長門石1丁目1-32)	10時	20	8月27日 (水)	
⑪	田主丸保健センター (田主丸町田主丸459-11)	14時	50	8月28日 (木)	
⑫	久留米アリーナ (東櫛原町170-1)	10時	50	8月29日 (金)	

認知機能検査とトレーニング【派遣型】 (ご案内)

～皆様へ 口バ隊長からのご案内～
2つのメリット！

- ①VR認知機能検査で自分の状態が分かる
 - ②状態に応じて、自宅学習を含めた6ヶ月のトレーニングを受けることができる
- 認知症についてみんなで考えるきっかけにして
もらえれば嬉しいです。

口バ隊長
「認知症サポートー
キャラバン」マスコット



募集数 **15** 校区(先着順)

● 何をするの？	1. VR認知機能検査機器による検査(5分程度) 2. ミニ講話(認知症と軽度認知障害について)(100分程度) ※1の結果によってトレーニングへの案内があります。 ※全体で120分程度かかります
● 募集受付	令和7年6月から令和7年7月まで
● 実施期間	令和7年6月から令和7年8月までの平日10時～17時
● 対象となる方	概ね65歳以上の久留米市民
● 申込条件は？	●人数は10～30名程度。 ●会場の確保、机や椅子の準備のご協力をお願いします。
● 申込方法	裏面の申込書を長寿支援課へFAXもしくは電話でお申込みください。

令和7年度 久留米市介護予防普及啓発事業

「認知機能検査とトレーニング【派遣型】」申込書

久留米市長様

令和 年 月 日

(申込者) 校 区 名

担 当 者

連 絡 先

受講者数	人		
希望日時	第1希望	令和____年____月____日____曜日 ____時開始	
	第2希望	令和____年____月____日____曜日 ____時開始	
開催場所	名称		
	住所		
備考			

※ 取り扱う個人情報は、本事業に関係すること以外の目的では使用しません。

お願い

○開催日時等がご希望に添えない場合や天候等の都合により、日程を変更させていただく場合がありますのでご了承ください。

【申込先・問合せ】 久留米市役所 長寿支援課

電話:0942-30-9207

FAX:0942-36-6845

☑のところが、今回の認知機能検査の結果です。

□ A



76~100点

認知機能は良好と考えられます。

引き続き、以下のこと気に気をつけて過ごしましょう。

- かかりつけ医への定期受診や年に1度の健康診断
- 運動、社会参加、食事、睡眠を意識した生活

□ B



51~75点

認知機能に若干の衰えが疑われます。

バランスの良い食事や適度な運動、睡眠など日頃の生活を意識しましょう

早めの予防対策が有効。年齢相當に戻る可能性があります。

★久留米市は6か月間（月2回）のトレーニングを用意！

仲間と一緒にぜひ参加しましょう！

トレーニング内容

- 認知症予防を含めた健康長寿のための生活習慣のコツ
- 認知機能回復に効果的な、自宅学習、運動や脳トレ
- 6か月後に、もう1度検査

□ C



~50点

認知機能に衰えが疑われます。

●気になる方は、かかりつけ医や「認知症に関する相談ができる病院」への受診をお勧めします。相談しにくい方は、

●市の事業「ものわすれ予防検診」も受けることができます

※早めの受診が、進行予防に繋がります。

お問合せ まずは長寿支援課へご相談ください。

久留米市長寿支援課 電話：0942-30-9207

久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）設置要綱

（趣旨及び設置）

第1条 認知症の人やその家族が、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、関係する団体から広く意見を聴くことを目的として「久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）」（以下「会議」という。）を設置する。

（検討事項）

第2条 会議は、次の各号に掲げる事項について検討し、市に意見を述べる。

- （1）認知症の人やその家族を地域で支援していくための仕組みづくりに関する事項
- （2）「久留米市認知症支援ガイドブック」に記載する内容に関する事項
- （3）その他認知症施策に関する事項

（組織）

第3条 会議は、別表に掲げる団体（以下「構成団体」という。）をもって組織する。

（委員長及び副委員長）

第4条 会議に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議の開催）

第5条 会議は、必要に応じて委員長が招集する。

（認知症医療連携会議）

第6条 会議に、地域支援事業実施要綱に基づき設置された認知症初期集中支援チーム（以下「チーム」という。）の活動状況及びチームの活動における関係機関との具体的な連携方法に関すること並びに認知症の早期の発見及び治療につなげるシステムの構築等についての協議を行う「認知症医療連携会議（以下「連携会議」という。）」を置く。

- 2 連携会議の委員は、委員長が会議に諮って指名する。

（プロジェクトチームの設置）

第7条 第2条に掲げる事項について、更に検討を重ねるために、会議にプロジェクトチームを置くことができる。

- 2 プロジェクトチームの構成員は、委員長が委員の中から指名する。

（事務局）

第8条 会議の事務は、健康福祉部長寿支援課において処理する。

（委任）

第9条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、市が別に定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この要綱は、平成30年5月11日から施行する。

附 則
(施行期日)

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別表

久留米市認知症支援ネットワーク会議（久留米市オレンジ会議）構成団体

区分	団体
医療・保健・福祉関係	一般社団法人 久留米医師会
	一般社団法人 浮羽医師会
	一般社団法人 小郡三井医師会
	一般社団法人 大川三瀬医師会
	一般社団法人 久留米三井薬剤師会
	一般社団法人 久留米歯科医師会
	公益社団法人 福岡県栄養士会
	一般社団法人 福岡県歯科衛生士会
	福岡県認知症医療センター 久留米大学病院
	社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会
介護関係者	一般社団法人 くるめ地域支援センター
	福岡県若年性認知症サポートセンター（若年性認知症支援コーディネーター）
認知症の人と 家族の会関係者	特定非営利活動法人 久留米市介護福祉サービス事業者協議会
民生委員・児童委員	特定非営利活動法人 にこにこ会（久留米地区認知症の人と家族の会）
校区まちづくり関係	久留米市民生委員・児童委員協議会
商工関係	久留米商工会議所

区分	構成団体	委員氏名	所属団体における役職等	ガイドブック改訂 プロジェクトチーム員	医療連携会議委員
医療・保健・福祉関係	一般社団法人 久留米医師会	武藤 邦弘			○
	一般社団法人 浮羽医師会	杠 岳文	筑後吉井こころホスピタル院長		○
	一般社団法人 小郡三井医師会	柳 大三郎	理事		○
	一般社団法人 大川三潴医師会	北原 清恵	大川三潴医師会		○
	一般社団法人 久留米三井薬剤師会	吉永 美恵	常務理事		
	一般社団法人 久留米歯科医師会	長澤 一利	専務理事		
	公益社団法人 福岡県栄養士会	関 美穂	筑後支部企画運営委員		
	一般社団法人 福岡県歯科衛生士会	天本 和子	監事	○	
	福岡県認知症医療センター 久留米大学病院	◎小路 純央	高次脳疾患研究所 医学部神経精神医学講座 教授	○	○
	社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会	江頭 敏夫	生活支援課 課長		
介護関係者	一般社団法人 くるめ地域支援センター	橋本 実紀	事業推進管理者	○	○
	福岡県若年性認知症サポートセンター	阿部 かおり	若年性認知症支援コーディネーター	○	
認知症の人と 家族の会関係者	特定非営利活動法人 久留米市介護福祉サービス事業者協議会	中村 祐子	介護支援専門員		○
	特定非営利活動法人 久留米市介護福祉サービス事業者協議会	○堀江 桃子	グループホーム部会 部会長	○	○
民生委員・児童委員	特定非営利活動法人 にこにこ会(久留米地区認知症の人と家族の会)	岩坂 茂子	理事	○	
校区まちづくり関係	久留米市校区まちづくり連絡協議会	綾部 章子	会長		
商工関係	久留米商工会議所	笠 智宣	事務局長 兼 総務部長		

◎委員長

○副委員長